



- ・ 平成17年の耕地面積は、14,500haで、前年と比べて100haの減少となった。
- ・ 1戸当たり平均経営耕地面積は52アールで、全国平均の1/3にとどまっている。
- ・ 耕地利用率は87%で、全国平均(95%)を大きく下回っている。

高度成長期以降、耕地面積は一貫して減少基調にあるが、昭和50年を境にしてその程度は鈍化している。

農家1戸当たりの平均経営耕地面積は52アールで、全国平均161アールの約1/3にとどまっている。長期的に見ても、全国平均が昭和50年ごろから4割増加したのに対して、大阪府では増加率が横ばい状況となっている。

